

活動報告

■プログラム名：カブトムシの森 伐倒作業と材処

■日時： 2024. 9. 29(日) 9:30~15:30

■活動場所：カブトムシの森 こもれびゾーン (A地区)、せせらぎゾーン (B地区)

■参加者： 10名

■活動概要：クヌギの伐倒と材処理

■活動内容：

本日は、晴れ時々くもりで、快適な作業日となりました。

自然観察センター前で、作業説明、体操を行い、道具をつんで、カブ森へ移動。

スズメバチに注意しながら、タープを張り荷物置き場をつくり、2班に分かれて伐倒作業を始めました。

1班は、こもれびゾーン (A地区) です。カブトムシの森最大のクヌギ直径38cm、高さ20m以上、4人交代で受け口切りを行いました。最初、鋸の刃の短いもので作業し、その後、長いものに変えたため、鋸の入りが悪くクサビを打ちながら、苦勞して受け口を作りました。

ここで昼食。午後からの追い口切りは、大鋸を使い、予定した伐倒方向に倒しました。材は、将来のイス作りにも使えるように1.5mで切り現地に残しました。伐倒後の材処理中、鋸が滑って手袋はしていたものの自分の左の親指に当たり怪我をするという事故がありました。材処理は、狭いところで一斉に行うため注意が必要だと再認識しました。

2班はせせらぎゾーン (B地区) の最南端部分にある二又に枝分かれして偏心した直径37cmのコナラの伐倒に取り組みました。久々の伐倒でやり方を忘れていることも多く、ロープ掛けまで時間がかかり、受口切りまで終わり昼食。

午後は、追い口切りに入りましたが、偏心していたため、鋸がうまく入らず、ロープを引いてコナラを伐倒しました。伐倒方向にうまく倒せましたが、二又のコナラが遊歩道上に横たわり、材処理に苦勞しました。

最後にチェーンソーで伐ったコナラをロープで移動させ、くい打ちも行い、せせらぎが見える位置に素敵な丸太のベンチを作成しました。皆さん、今度座ってみてください。



<こもれびゾーン A 地区>





<材処理>



<せせらぎゾーン B 地区>



<丸太のベンチ設置>



<集合写真>